

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	倫理学					授業形態	講義		
科目コード	111020	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	長友 泰潤								
授業概要	<p>入門編として「倫理、道徳とは何か」という問いを出発点に、倫理思想の成立過程やその時代背景を説明するとともに、基本的な倫理学の考え方、基本用語についてわかりやすく解説する。また、学生が積極的に授業に参加できるように、グループ学習を導入し、学生自身が現代社会の倫理・道徳思想について考察する。その方法として、医療や福祉、食品偽造等の社会倫理、文学作品やアニメ、昔話等の中から倫理道徳観をよく表したテーマの一つを選び、図書館や情報処理室において、書籍やインターネット情報を検索しながら資料研究を行い、パワーポイントを使って、プレゼンテーションの資料を作成し、発表を行う。それに対する質疑応答と解説を行っていく。</p>								
関連する科目	哲学・宗教学を受講することが望ましい。								
授業の進め方 と方法	<p>学生が積極的に授業参加できるように、グループ学習のシステムを導入し、学生が社会倫理や文学作品、アニメ等の中から倫理道徳思想をよく表しているもの一つを選び、その思想や時代背景等について、図書館やインターネット情報で資料研究を行い、それをまとめて、パワーポイントにより発表を行う。その発表について、他の学生も参加し、質疑応答をおこなっていく。終了後の補足説明は教員が行う。</p>								
授業計画 【第1回】	倫理・道徳思想がどう生まれたのか、倫理・道徳とは何かをわかりやすく解説する。								
授業計画 【第2回】	学生がグループを作り、図書館や情報処理室において、書籍やインターネット情報をもとに、現代社会と倫理の関わりのあるテーマを研究調査する。								
授業計画 【第3回】	上記の研究調査をもとに、グループで話し合い、テーマを絞り込んでいくと同時に、パワーポイントを使い、プレゼン用のスライドを準備する。								
授業計画 【第4回】	それぞれのグループが選んだテーマが重ならないように調整し、発表の準備をする。								
授業計画 【第5回】	文学作品に見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第6回】	医療事故に見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第7回】	尊厳死・安楽死に見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第8回】	現代アニメに見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第9回】	食品偽造に見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第10回】	生命倫理に見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。								
授業計画 【第11回】	動物保護に見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。								

授業計画 【第12回】	個人情報保護と新聞雑誌に見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。
授業計画 【第13回】	個人情報保護とテレビ・ラジオ放送に見る倫理・道徳観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。
授業計画 【第14回】	インターネット情報・SNS等の情報ツールの倫理観についての発表と、それについての質疑応答と解説を行う。
授業計画 【第15回】	発表された内容を総括する。
授業の到達目標	1. 現代社会における倫理・道徳について理解を深める。 2. 医療事故・食品偽造・安楽死・動物保護等について、倫理道徳的な視点から理解を深める。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	1. プレゼンテーションとパワーポイント作成の準備のため、図書館で関連書物を検索読書し、必要な情報を集める。(60分程度) 2. インターネット情報を活用し、関連する情報・資料を収集し、検討を行う。(30分程度) 3. スライド作成作業を続けながら、プレゼンテーションの内容を充実させていく。(30分程度)
授業時間外の学修 【復習】	1. 他のグループの行ったプレゼンテーションの問題点を検討する。(60分程度) 2. その検討をもとに、自分たちのプレゼンテーションへのフィードバックを行う。(30分程度)
課題に対する フィードバック	各グループの発表後、質疑応答の内容に即し、解説と評価を行う。
評価方法・基準	1. プレゼンテーションのスライド内容・・・・・・・・25点 2. プレゼンテーションのやりかた、質疑応答への対応・・・・・・・・25点 3. 質疑応答への参加度（質問回数・答弁回数等）・・・・・・・・50点
テキスト	必要に応じて資料等を配布する。
参考書	必要に応じて資料等を配布する。
備考	